

地図の成り立ちと読み方

中 村 六 郎*

環境情報研究所主催の1997年度環境セミナーは、「地図の成り立ちと読み方」のテーマで11月1日に開催された。環境表現の手段として、地図は欠くことのできないものである。また、日常生活でも、私たちは、いたるところで、いろいろな地図と接している。今回のセミナーは、そのような地図の、成り立ちと見方・読み方について取り上げた。

セミナーは、学外の一般市民も対象とした公開講座なので、最初に、地図に関する簡単なアンケートを取り、その結果を導入の出発点として本題に入った。市民の方々の、地図に関する基本的な知識にはバラツキがあるので、導入の段階では、この簡単なアンケートが極めて有効である。

今回のセミナーでは、時間の制約もあり、いろいろな地図の基になっている、わが国の基本図を中心におき、配布した数種類の参考資料を活用しながら、随時、質疑応答の形式を取った。セミナーの内容は次のとおりであった。

1) 日常の暮らしと地図

2) 地図とは？

地図の定義

地図の約束・図式

3) 地上の距離は地図上では？

地図の縮尺

縮尺と縮尺分母数

4) 地球の形と大きさ

地球原子

主な地球楕円体

法律で決められている地球の大きさ

5) 曲面から平面へ

地図投影

いろいろな投影法

基本図の投影法

6) どう表示するの？

選択と表示

地図記号

試してみよう記号の知識

7) 基本図・地形図ができるまで

基準点測量と地図測量

地図製図と地図複製

基準点の設置数

わが国の基本図体系

地図番号の読み方

8) いろいろな地図

一般図と主題図

土地利用図と土地条件図

数値地図の時代へ

数値地図による佐倉中心の地形区分図

(今回のセミナーは、地図についての啓蒙に努めている私にとって非常に有り難い企画であった。このような機会を与えて下さった環境情報研究所に、心より御礼申し上げます。)

* 地図・測量教育研究会